

〔事業報告〕

平成25年度

宮崎県市町村・地域づくり団体等協働モデル事業

No. 1

(五ヶ瀬町)

鞍岡地域づくり協議会

事業名：鞍岡の生活・文化の保存とフットパスによる交流事業

1. 【団体の概要】

鞍岡地域づくり協議会は、平成 20 年 5 月、鞍岡地区の六つの公民館の館長、鞍岡中学校、鞍岡小学校、鞍岡祇園神社総代会、鞍岡地区の婦人数名、鞍岡地区の青年数名、鞍岡祇園神楽保存会、鞍岡タイシャ流棒術保存会、NPO 法人五ヶ瀬自然学校、五ヶ瀬町農林振興課で誰もが気軽に参加できる活動を中心としながら、鞍岡地域の持続可能なふるさとづくりを、社会的な事業として継続できるよう結成された。

2. 【事業の目的、ねらい】

鞍岡地区の昔ながらの生活や食、神楽、棒術、祭りなどの文化にまつわる物や写真を集め展示し住民の誇りを醸成するとともに、フットパス（集落の小路）を活用し、各集落の魅力を高め、祭りなどに合わせて農村体験ツアーを開催し、都市と農村の交流を通して鞍岡地域の活性化を図る。

3. 【活動内容】

- ・ 古い写真や資料、昔使っていた生活道具などの収集。
- ・ 郷土料理やジビエ（野生の肉）料理のレシピ作成。
- ・ 伝統芸能、祭りの写真撮影および収集。
- ・ フットパス（集落の小路）の整備および農村体験ツアーの開催。

4. 【事業の成果、効果】

- ・ 古い写真や資料、昔使っていた生活道具などの収集
- ・ 伝統芸能、祭りの写真撮影および収集

五ヶ瀬町役場地域振興課、五ヶ瀬観光協会、鞍岡地区住民、五ヶ瀬自然学校などが持っている鞍岡地域に関する古い写真や、祭り、伝統芸能、地域づくりイベント、子どもたちなど様々な写真を収集し、スキャンしデータ化して保存するとともに、その中から 90 枚を厳選しプリント後、額に入れて鞍岡地区の各施設に展示した。鞍岡地区住民の郷土愛や誇りの醸成を図るとともに、フットパスの際のアクセントとして活用して行く。

- ・ 郷土料理やジビエ（野生の肉）料理のレシピ作成

お祭りやイベントで振舞う伝統的な郷土料理や、鞍岡ならではの鹿や猪の肉を活用した新たな郷土料理のレシピを作成し、ファイリングして保存するとともに、今後の祭りやイベントに生かして行く。

- ・ フットパス（集落の小路）の整備および農村体験ツアーの開催。

フットパスの整備については、鞍岡地区の波帰集落コース、道の上～馬見原コースを整備した。それぞれ、地元の方協議しながらコース設定を行い、竹や笹

などで通行不可能となっていた道の整備、マップ作り、看板作りを行った。今後、フットパスウォーキングイベントや、祭りの時の散策コースとして活用しながら、地元の方の理解を得て行く。農村体験ツアーについては、7月15日の祇園大祭、9月21日彼岸花祭り、10月12日～13日おくんち祭り、11月22日～23日おてんとうさん祭りの計4回、ポスターやチラシでの広報活動およびフットパスを生かしたイベントを祭りと合わせて行った。子どもから高齢者まで、九州全域から集客することが出来た。

5. 【まとめ】

今回の事業によって、鞍岡地域固有の魅力を整理、活用することが出来た。写真、郷土料理、フットパスは、全て祭りやイベントで活用することが出来るので、今後更に鞍岡地域を盛り上げるために役立てたい。更に地域住民が鞍岡地区について再認識することが出来、改めて鞍岡地域の文化を大切に守って行こうとする力に繋がる。鞍岡地区の過疎化を止めることは非常に難しいのが現状であるが、住み続けようとする住民一人一人が、誇りを持っていきいきと暮らして行ける様、今後も様々な努力をして行こうと思う。

夏めく

鞍岡祇園祭& 棚田ウォーキング



7月15日 祝日

☆鞍岡祇園神社夏季例大祭 祭事予定☆

◇9時より森巻き神事◇10時30分より式典、祇園神楽奉納◇13時よりご神幸祭、浦安の舞、御神馬、注連縄、猿田彦、神やすめ、獅子舞、神面、弓、織、神御幣、小学校鼓笛隊、薙刀、棒術隊、子供御輿、大傘、賽銭箱、大御輿、女御輿、大御輿、御神水御輿、虫追い◇ご神幸祭終了後、心影大車無雙流棒術「白刃の演武」、祇園神楽奉納。

棚田ウォーキング

10:00 祇園神社集合

10:30 約4Kmの棚田
ウォーキング

12:00 神社で昼食

13:00 祭に参加(見学)

参加費500円(昼食代、保険料)

「浦安の舞」を鞍岡小学校の6年生の女の子が舞います。お祭りが出来る喜びを表した儀式。

「御神水御輿」登場！妙見神水を入れた樽を御輿にして担ぎます。誰でも参加可能です。ご協力お願いいたします。

「虫追い」が復活！田んぼの虫を追い払う事を祈願して、二人で担ぐ小さな御輿と笛、太鼓で田の畦を駆け回る儀式。

「子ども神楽」奉納！鞍岡小学校の子ども達が練習中です。

「お祭り屋台」！鞍岡の青年が手作り屋台で盛り上げます。

秋づく

おくんち祭& 棚田ウォーキング



10月13日 日曜日

☆鞍岡祇園神社おくんち祭 祭事予定☆

✿ 8:00~17:00

●鞍岡祇園神社境内神楽殿にて祇園神楽33番全てを奉納。

※子ども神楽も間に舞われます。

●屋台出店 (食べ物、飲み物など)

✿ 10:30~ 式典・浦安の舞

✿ 13:00~15:00 臼太鼓踊り

山伏問答、参加者全員で踊り (どなたでも参加可能)

✿ 福餅まき<計3回>①臼太鼓踊り終了後 ②神楽「酒こしの舞」

③10/8剣道大会

✿ 10月8日(月曜日) 8:30~

奉納剣道大会(神社境内にて)

棚田ウォーキング

10:00 祇園神社集合

10:30 約4Kmの棚田
ウォーキング

12:00 神社で昼食

13:00 祭に参加(見学)

参加費500円 (昼食代、保険料)

平成25年度 宮崎県市町村・地域づくり団体等協働モデル事業

鞍岡天津神社 夜祭り

おてんとうさん祭

毎年行われている伝統の夜祭りです。

子ども相撲は有志による賞金および豪華賞品が進呈されます。

&五ヶ瀬川源流波帰集落フットパス



11月16日 土曜日

< おてんとうさん祭 祭事予定 >

✿19:00~21:00ごろまで

●天津神社境内土俵にて子ども相撲大会

あかちゃんの泣き相撲、幼児対戦、小学生対戦・勝ち抜き、中学生以上露払い・対戦・勝ち抜き

●屋台出店(食べ物、飲み物、野菜、加工品など)

✿18:30~深夜まで

●鞍岡祇園神楽奉納、福餅まき、かつぼ酒振る舞いなど

五ヶ瀬川源流フットパス

13:00 五ヶ瀬自然学校集合

13:30 約4kmの五ヶ瀬川

源流波帰集落フットパス

15:00 白滝見学

16:00 終了

参加費1,000円(保険料、ガイド料)

宿泊プラン
8,000円

鞍岡地域づくり協議会『祇園祭盛り上げ隊』 TEL.0982-73-6366

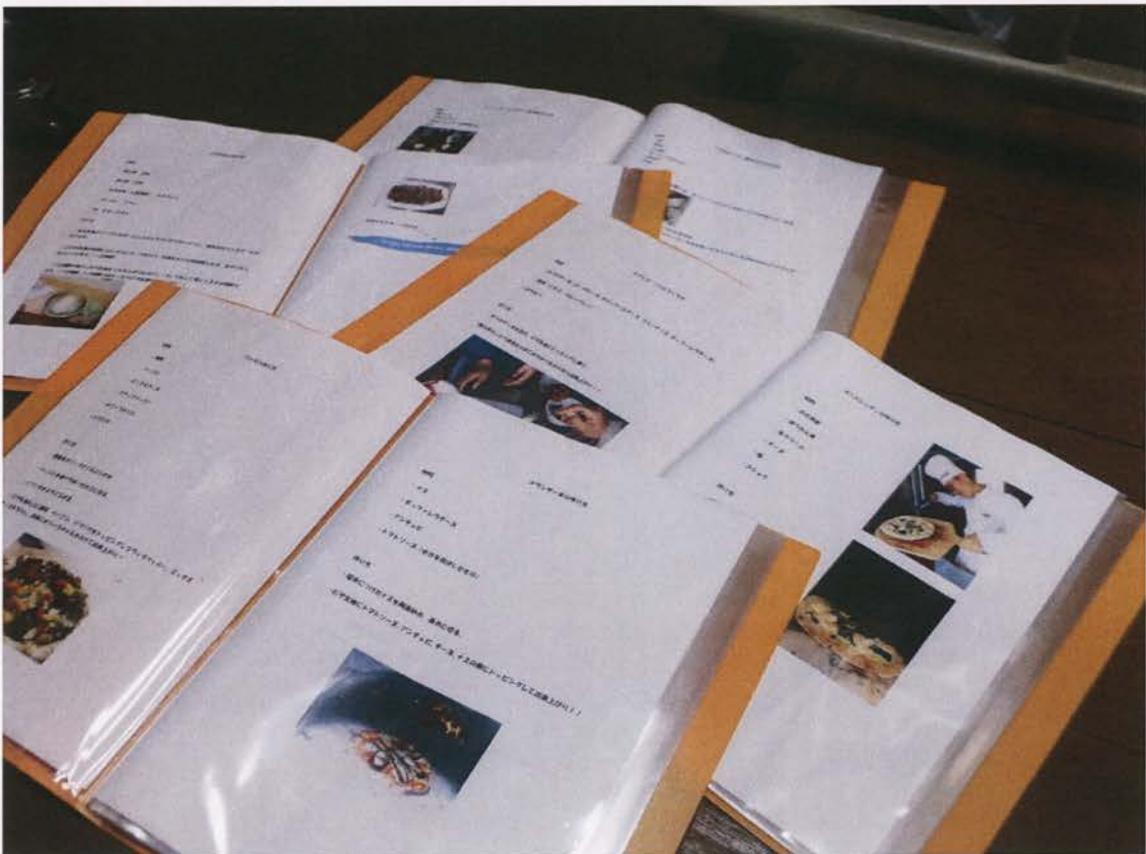


↑波帰コースフットパス看板 6本



↑道の上コースフットパス看板 6本

郷土料理のレシピ集



鞍岡の写真



約4Km / 所要時間90分

五ヶ瀬フットパス #6

～霧立の里～

波帰コース

山ノ神、水ノ神、神仏混合の御堂など、古くから八百万の神々を大切にしながら生活している集落。椎葉村～馬見原(山都町)を結ぶ霧立越えルートの途中にあり、昔は駄賃付の馬が立ち寄り、現在は民宿が立ち並び、冬はスキー客に大人気。雪深く、宮崎にありながら豪雪地帯であり、特有の家が建ち並ぶ。

【車でのアクセス】九州自動車道・御船ICから約60分、国道445号線から国道218号線へ、山都町馬見原で国道265号線へ右折、「五ヶ瀬ハイランドスキー場」方面へ。白岩旅館で右折、やまめの里を通りすぎると波帰生活改善センター。



鞍岡地域づくり協議会 TEL/FAX0982-73-6366

宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町大字鞍岡2840

※平成25年度 宮崎県市町村・地域づくり団体等協働モデル事業

スタート地点



波帰生活改善センター

宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町大字鞍岡4359-3

TELなし

スキー場の麓にある集落の交流施設。駐車場としてご利用いただけますが、利用の際は事前に鞍岡地域づくり協議会にご連絡ください。スキーズン中は交通量が多いので要注意

コースの体力度

全体的にアップダウンがあるので休みながらゆっくりと散策したい。コース上に国道はないが車には十分注意。舗装道が多いが、林道や畑の道など舗装されていない道もある。雨の後などは要注意。全コースで4km、距離を伸ばす道や、ショートカットも出来るので、体力に合わせてご利用を。

アドバイスと注意

- このマップの他、コース上には道標、リボンの目印があります。
- トイレはスタート地点の波帰集落改善センターにあります。通常はご利用いただけますが、事前にご連絡下さい。
- 水を携帯し補給をこまめにしましょう。
- 途中に商店や自販機はありません。特に飲み物は事前にご準備下さい。
- 集落内に民宿、ホテルもございません。
- 10月下旬の紅葉の季節は見事です。
- 12月～2月は積雪の為、車でお越しの際はご注意ください。



道順

波帰生活改善センターから少し登る。波帰橋を渡り右の小道へ。民家の間を縫うように登り大山の神へ。舗装道を下り右に由がり御堂へ。ロジ森のくまさんで右に曲がり進むと右手上方に天狗神社(お参りの際には家の方にお断り)。民宿ふたば荘を右手に見ながら分かれ道を右手に進む。まっすぐ進むと小さな沢がある。小さな沢沿いに林道を登ると山神様。もとの舗装道に戻りまっすぐ進むと町道。左手に曲がり棚田の景色を見ながらT字路を左へ由がりを。川を渡り右手に小水力発電施設を見ながら進む。分かれ道を右下に、民家の立ち並ぶ小径を進む。町道に出る手前で左に曲がり古い橋を渡りゴール。

★フットパスのルール

- 1.ゴミはきちんと持ち帰る。
- 2.動植物や田畑の作物を採取しない。
- 3.家畜やペットを脅かさない。
- 4.火気の取り扱いに細心の注意を。
- 5.地域の方の迷惑になるような行為をしない。
- 6.ハチやヘビなどの危険生物、天候には十分注意する。



五ヶ瀬フットパス#6 約4Km / 所要時間90分
 ～霧立の里～ 波帰コース

A 大山ノ神



▲地元の方に愛されている神様。毎日集落を見守っています。

B 御堂



▲今ではめずらしい神仏混合の御堂。

C 波帰大橋を望む



▲波帰大橋の後ろに九州脊梁の美しい山々が広がる。

D 天狗神社



▲タイシャ流梯術の総家の裏山にある神社。天狗がいると思わせる雰囲気。

E 山神



▲空気の澄んだ山の中にひっそりたたずむ山神様の御堂。

F 波帰集落を望む



▲棚田ごしに波帰集落が望める。紅葉の季節は絶景。

G 通称「びじゃてん」



▲白蛇がいたことから縁起が良いとされ祀られている。



地図の記号について

- 基本コース
- 寄り道
- WC トイレ
- P 駐車場
- A~G おすすめ
- O ビューポイント

道の上・馬見原コース

古くから宿場町として栄えた地域。霧立越の駄賃付の馬が往来していた道を、日本一の清流となった五ヶ瀬川を見ながら歩く。その美しい山、川、街並みは若山牧水、山頭火も愛したと言われており、日向と肥後を結んでいた日向往還の宿場町である馬見原には両歌人の様々な記録が残っている。



【車でのアクセス】九州自動車道・御船Cから約60分。国道445号線から国道218号線へ、山都町馬見原で国道265号線へ右折。200m進んで左手に明徳稲荷神社の駐車場。



鞍岡地域づくり協議会 TEL.FAX0982-73-6366

宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町大字鞍岡2840

※平成25年度 宮崎県市町村・地域づくり団体等協働モデル事業

スタート地点



明徳稲荷神社駐車場
熊本県上益城郡山都町馬見原 明徳山

TELなし

ここよりスタート地点へタグシー等で移動します。西南の役官軍本営址の石碑を右手に231段の階段を上ると、稲荷神社が祀られている明徳山の山頂へ着く。

コースの体力度

全体的にアップダウンがあるが比較的歩きやすい。一部国道の歩道や国道を渡る箇所があるので要注意。舗装されていない道も林道や畑の道など舗装されていない道もある。雨の後などは要注意。全コースで4km距離だが距離を伸ばすことも出来る。体力に合わせたご利用を。

アドバイスと注意

- このマップの他、コース上には道標、リボンの目印があります。
- トイレは明徳神社より徒歩1分の所の馬見原交番横と、中間のガソリンスタンドの横にあります。
- 水を携帯し補給をこまめに行いましょう。
- 途中に自動販売機がありますが、終盤の馬見原商店街まで商店等はありません。
- 馬見原商店街の中には地元産の新鮮な野菜を販売している商店があります。ぜひご利用ください。



道順

三河橋から五ヶ瀬川の土手沿いを下流へ。堰をすぎ、すぐに小道を右上に。国道に出たら右へ。横断歩道を渡り小道をのぼる。突き当りのT字路を左へ、2つ目の三差路を右へ。坂を下り突き当りを右、分校跡のグラウンドを横切り、民家を横切り林の中を進む。農道を右上へ道なりに進む。国道へ出たら左へ進む。右へ曲がり原野尾橋を渡り右へ。分かれ道を左上にあげり棚田の中を進む。3差路を右へ曲がり左手の秋葉神社の境内へ。階段をのぼり左へ。境内裏手の下り坂を下る。石へ曲がり沢をわたリ右へ進む。小さな交差点を左へ、小径を道なりに進むと馬見原橋のたもとへ。橋を渡り馬見原商店街へ。若山牧水の石碑を右へ。すぐに左に曲がり、小路へ進む。突き当りを左へ。商店街を右へ。国道を渡るとゴールの明徳稲荷神社駐車場。

★フットパスのルール

- 1.ゴミはきちんと持ち帰る。
- 2.動植物や田畑の作物を採取しない。
- 3.家畜やペットを脅かさない。
- 4.火気の取り扱いに細心の注意を。
- 5.地域の方の迷惑になるような行為をしない。
- 6.ハチやヘビなどの危険生物、天候には十分注意する。

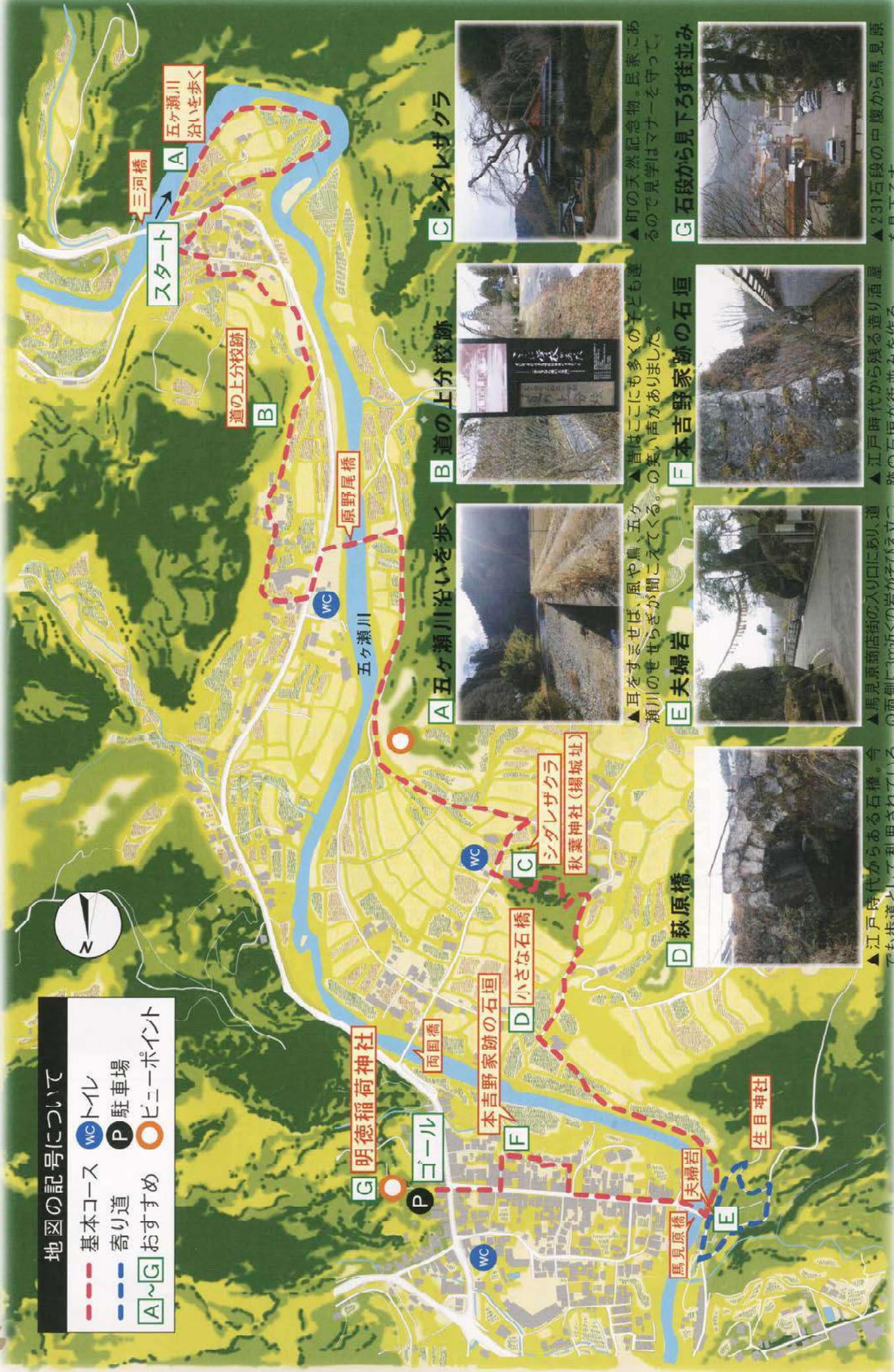


五ヶ瀬フットパス#7 約4Km / 所要時間90分

～国境の里～ 道の上・馬見原コース

地図の記号について

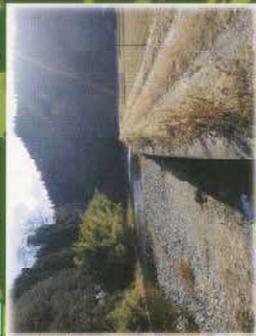
- 基本コース
- 寄り道
- A~G おすすめ
- トイレ
- P 駐車場
- ヒューポイント



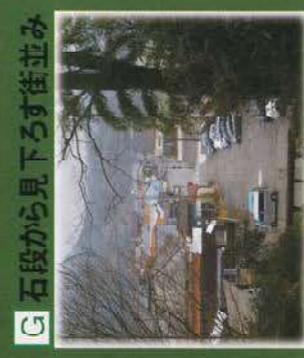
▲町の天然記念物。民家にあるので見学はマナーを守って。



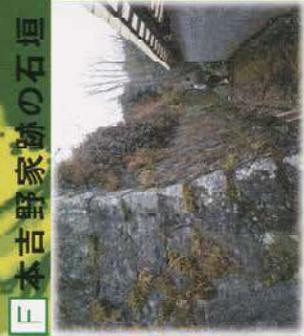
▲昔はここにも多くの石垣跡があり、耳をすませば、風や鳥、五ヶ瀬川のせせらぎが聞こえてくる。の美しい声がありました。



▲江戸時代から残る廻り酒屋跡の石垣が街並みを作る。



▲231石段の中腹から馬見原を見下ろす。



▲江戸時代から残る廻り酒屋跡の石垣が街並みを作る。



▲江戸時代からある石垣。今でも歩道として利用されている。の両側に3m近くの岩がそびえ立つ。

C シダレザクラ

B 道の上分校跡

A 五ヶ瀬川沿いを歩く

F 本吉野家跡の石垣

E 夫婦岩

D 秋原橋

C シダレザクラ

D 小さな石橋

F 本吉野家跡の石垣

E 夫婦岩

G 明徳稲荷神社

西国橋

P ゴール

A 三河橋

スタート

B 道の上分校跡

五ヶ瀬川

原野尾橋

C シダレザクラ

秋葉神社(揚城址)

生目神社

▲江戸時代からある石垣。今でも歩道として利用されている。の両側に3m近くの岩がそびえ立つ。

▲江戸時代から残る廻り酒屋跡の石垣が街並みを作る。

▲江戸時代からある石垣。今でも歩道として利用されている。の両側に3m近くの岩がそびえ立つ。